

1 コメント対応の適用について

令和2年9月24日に対応プログラムと関連するマスタ更新データを提供します。

プログラム更新処理とマスタ更新処理を実施して適用します。

必ず、プログラム更新処理とマスタ更新処理を一連として実施してください。

なお、9月24日に提供する内容は、概ね令和2年10月診療分以降を対象とします。
よって、コメントコードの新設分などの適用開始日は10月1日とします。

診療行為入力対応範囲

6月下旬

- ・画像診断の複数部位コード入力対応
- ・新設されたコメントパターンの入力
「5 新設コメントパターンの入力」で説明の内容
- ・コメントパターン「30」の専用入力画面
「6 コメントパターン「30」の入力」で説明の内容
- ・「4 コメント入力で留意すべき内容」で説明の内容
- ・コメントパターン「30」のDO（セット等）展開・・・(30日パッチ提供)
「7 コメントパターン「30」のコロン又はセミコロンの対応」で説明の内容

7月下旬

- ・選択式コメント一覧の表示対応（仕様変更）
剤内にコメントコードが存在する場合、選択式コメントが設定された診療行為コードを入力しても選択式コメント一覧が表示されないため表示可能とする。
「8 診療行為での選択式コメント一覧の表示対応」参照
- ・まとめ入力画面でのコメントパターン「30」専用入力画面を追加する。

9月下旬

- ・「制限回数を超えて行う診療」に係る検査を実施した場合入力方法
「4-10 「制限回数を超えて行う診療」に係る検査を実施した場合入力方法」参照
- ・同時提供するレセプト記載マスタのマスタ更新を適用すると、10月診療分以降について、診療行為入力画面の名称の前に表示する識別文字を追加します。
「S」：選択式コメント一覧を表示します（既存）。
「C」：選択式コメント一覧を表示しない選択式コメントを含みます。
「R」：選択式コメント一覧を表示しないレセプト自動記載を行う選択式コメントを含みます。
※上記識別文字表示の優先順は「S」「C」「R」の順となります。
- ・コメント内容が訂正されたコードで10月診療分以降に末尾が切れる可能性がありますので注意が必要です。
「4-11 コメント内容が訂正されたコードについての注意事項」参照

レセプト処理対応範囲

6月下旬

- ・新設されたコメントパターンの記載（記録）対応
- ・32文字超えの記載（記録）対応

- ・医科分のレセプト処理自動記載対応
対応範囲は、「別表「選択式コメントコードによる自動記載（記録）対応」を参照してください（令和 2 年 4 月診療分以降での対応となります）。

7 月下旬

- ・時間外緊急院内検査加算及び時間外緊急院内画像診断加算の検査日コメントの自動記載対応
「4-4 時間外緊急院内検査加算、時間外緊急院内画像診断加算」参照
- ・労災、自賠責及び公害分のレセプト処理自動記載対応（令和 2 年 8 月診療分以降での対応となります）
「別表「選択式コメントコードによる自動記載（記録）対応」参照

9 月下旬

- ・湿布薬に対するコメントの自動記載対応
「4-7 湿布薬」参照
- ・在医総管・施医総管の選択式コメント自動記載対応
「4-8 在医総管・施医総管の選択式コメント自動記載対応」参照
- ・疾患別リハビリテーション料の手術年月日・急性増悪年月日の自動記載対応
「4-9 疾患別リハビリテーション料の手術年月日・急性増悪年月日の自動記載対応」参照

10 月下旬

- ・紙レセプトの枝番記載対応（令和 2 年 4 月診療分以降）
※レセ電データの対応は来年度になりますが、時期は未定です。

2 マスタ対応について

2-1 コメントマスター

公開されたコメントマスターのコメント文（漢字名称）の文字数により、レセプト電算データに記録する場合の制限がありますので、マスタの適用日を以下とします。

コメント文文字数	レセプト電算データ記録	マスタコード適用日
32文字以内	令和2年4月診療分から	令和2年4月1日
32文字超え	令和2年7月診療分から	令和2年7月1日 超音波検査の部位コードの1件については4月1日として既提供済みです。

レセ電通信医「2020005 号 診療報酬改定に伴う記録方法等について (PDF:299KB)」の「11 新規コメントコードの経過措置について」に伴う対応となります。

https://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/vendor/vendor_01.files/resetu_i_2020005_1.pdf

また、32文字超えのコメント文は、独自に32文字以内に短縮した内容とします。
その場合、正式なコメント文は点数マスターの正式名称に格納します。

2-2 コメント関連テーブル

記載要領の別表 I をデータ化し公開されたマスターです。

日レセでは選択式コメント一覧画面で表示する内容の参考としているマスターです。
適用は令和2年7月診療分からとなります。

3 選択式コメント一覧の内容について

新しい別表Ⅰのコメントは、**令和2年7月診療分**から表示します。
6月診療分までは、改定前の別表Ⅰのコメント内容を表示します。

理由

6月中にマスタ更新処理を実施後、新しい別表Ⅰのコメントが表示され選択入力されることにより、それまでフリーコメントで入力された内容とコード記録が混在してレセ電データに記録される可能性が高くなることから、返戻の原因となることを避けるためとなります。

ただし、選択式コメント一覧画面が表示されないだけであり、コメントコードは存在します（マスターコード適用日：令和2年4月1日）ので、コメントコードによる入力は可能です。

4 コメント入力で留意すべき内容

選択式コメント入力対応において、従前からの変更があるものや特別な入力方法となるものについて説明します。

4-1 特定薬剤治療管理料

加算コードを入力しても選択式コメント一覧画面が表示されません。

//s で表示してください。

同一剤に選択式コメントに該当するコードが既に入力されているためですが、システム管理の設定により動作を変更可能としました。

「8-1 システム管理の設定を追加」参照

<表示選択>

6：選択式コメント一覧

1 自動表示する と設定の場合

→ 選択式コメント一覧画面は表示しません

2 自動表示する（選択コメントなし） と設定の場合

→ 選択式コメント一覧画面は表示します

例

113000410 *S 特定薬剤治療管理料 1

選択式コメント一覧から選択

113029370 S 特定薬剤治療管理加算（エベロリムス投与臓器移植後）

「1 自動表示する」の場合は、「特定薬剤治療管理加算（エベロリムス投与臓器移植後）」の選択式コメント一覧は表示しません。

「2 自動記載する（選択コメントなし）」の場合は、「特定薬剤治療管理加算（エベロリムス投与臓器移植後）」の選択式コメント一覧は表示します。

4-2 悪性腫瘍特異物質治療管理料

7月診療分より

113001310 悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・1項目）

113002110 悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・2項目以上）

は、コメントコード

830100060 検査名（悪性腫瘍特異物質治療管理料）；

を自動発生しますので検査名を入力します。

※113001210 悪性腫瘍特異物質治療管理料（尿中B T A）は、検査名のコメントは必要ありません。

システム管理「1038 診療行為機能情報」の「4：悪性腫瘍検査一覧」を「1 自動表示する」と設定している場合の動作には変更はありませんが、コメントコードは新設のコードとなります。

4-3 算定回数が複数月に1回のみとされている検査

7月診療分より、検査マスタのユーザー設定で「前回検査日」を「1 表示する（初回コメント）」又は「2 表示する（初回実施日）」と設定してる検査を入力した場合に発生するコメントコードが変更となるものがあります。

別表Ⅰで記された検査には、初回と前回実施年月日の選択式コメントコードが追加となりました。

例

160004810 アルブミン定量（尿）

選択式コメント

820190008 初回（アルブミン定量（尿））

850190008 前回実施年月日（アルブミン定量（尿））

なお、選択式コメントコードの指定がない検査「トランスフェリン（尿）」などは、従前からのコメントコード（「840000085 初回実施 月 日」、「840000087 前回実施 月 日」）を自動発生します。

4-4 時間外緊急院内検査加算、時間外緊急院内画像診断加算

7月診療分より

851100004 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）；

851100005 撮影開始時刻（時間外緊急院内画像診断加算）；

を自動発生しますので開始時刻を入力します。

同一剤に「840000099 検査日 日」を自動記載します。

※紙レセプトのみ自動記載します。

※同一剤に「840000099」コメントを診療行為入力された場合は、自動記載は行いません。

※診療行為入力された「840000099」コメントについては、レセプト電算データに記録を行います。

検査日コメント

従前のコメントでは、

840000044 （緊検） 日 時

840000071 （緊画） 日 時

のように検査日が含まれていましたが、新設のコメントは検査日の内容がありません。

レセプト処理にて検査日を自動記載します（7月下旬パッチで対応）ので、入力する必

要はありません。

もし、入力する場合は、

840000099 検査日 日

のコメントコードで入力してください。レセプト処理にて重複記載を回避します。

※セット登録やD Oからの入力をした場合に従前のコメントコードが含まれる場合は重複しますので不必要なコメントコードは削除してください。

4-5 外来迅速検体検査加算

830100111 検体検査名（外来迅速検体検査加算）；

の選択式コメント一覧画面を表示しますので該当する検査名を入力します。

システム管理「1007 自動算定・チェック機能制御情報」の「外来迅速検体検査加算自動発生」を“算定する”と設定している場合は、検査名のコメントコードを別剤として入力します。

. 600 * 検査

830100111 検体検査名（外来迅速検体検査加算）；尿一般

~~※診療行為入力にて自動挿し込み、あるいはレセプト処理での自動記載が可能であるか検討しています。対応可否などは改めてお知らせします。 対応はなしとなりました。~~

4-6 処方料、処方箋料

各点数コードは自動算定しますので、選択式コメント一覧画面は表示しません。

診療種別区分を入力して//ss により、選択式コメント一覧画面を表示し、

「F100、F400 処方料、処方箋料」から選択式コメント入力するか、直接コメントコードを入力してください。

例

処方料

. 250 * 処方料

830100195 切替対象薬剤名（処方料）；

処方箋料

. 820 * 処方箋料

830100196 切替対象薬剤名（処方箋料）；

4-7 湿布薬

4-7-1 院外処方のレセプト自動記載対応

= 記載要領（別表1） =

（湿布薬を投与した場合）

所定単位当たりの薬剤名、湿布薬の枚数としての投与量を記載した上で、湿布薬の枚数としての1日用量又は投与日数を記載すること。

処方箋を作成するために処方内容を入力している場合となりますが、レセプトに自動記載を行います。

令和2年10月診療分以降の対応となります。
9月診療分までは従前の通りの入力を行います。

自動記載をするためには、**院外処方**の**湿布薬と同一剤**に、「830100204 湿布薬の1日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）」を入力します。

レセプト摘要欄の「80その他」処方箋料の下に湿布薬の名称（一般名の場合あり）と「830100204」の内容とを併せてレセプト記載（記録）します。

なお、同一診療内容が複数回あった場合（剤回数が2 以上の場合）は、同じコメントを回数分記載（記録）します。

(注意) 用法コードはこのコメントコードより後に入力します。

例 1 湿布薬を一般名で処方した場合

院外処方 (10月1日)

230 * 外用藥劑

620007813 14 【般先】ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm

830100204	湿布薬の１日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）；１日２枚、 ７日分
-----------	---------------------------------------

<レセプト>

80	＊処方箋料（その他） 68 × 1 ＊一般名処方加算2（処方箋料） 5 × 1 ＊【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm 非温）14枚 湿布薬の1日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）；1日2枚 、7日分
----	---

<レセ電>

SI, 80, 1, 120002910,, 68, 1,,,,, 1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
SI, 80, 1, 120003570,, 5, 1,,,,, 1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
CO, 80, 1, 810000001, 【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg (10×14cm 非温) 14枚
CO,, 1, 830100204, 1日2枚、7日分

処方箋に一般名による記載を行った場合は、レセプト（レセ電）も一般名により記載、記録します。

レセ電では薬剤名はフリーコメントコードにて記録します。

例 2 同月に同一診療内容が 2 回の場合

院外処方 (10 月 1 日)

. 230 * 外用藥劑

620007813 30 【般先】ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm

830100204 湿布薬の１日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）；１日５枚、
６日分

院外処方 (10月15日)

. 230 * 外用藥劑

620007813 30 【般先】ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm
830100204 湿布薬の1日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）；1日5枚、
6日分

＜レセプト＞

80	* 処方箋料（その他） 68 × 2 * 一般名処方加算2（処方箋料） 5 × 2 * 【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm 非温） 30枚 湿布薬の1日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）；1日5枚 、6日分 * 【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm 非温） 30枚 湿布薬の1日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）；1日5枚 、6日分
----	---

＜レセ電＞

SI, 80, 1, 120002910,, 68, 2,,,,, 1,,,,,,,,,,,,, 1,,,,,,,,,,,,,
SI, 80, 1, 120003570,, 5, 1,,,,, 1,,,,,,,,,,,,, 1,,,,,,,,,,,,,
C0, 80, 1, 810000001, 【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm 非温） 30枚
C0,, 1, 830100204, 1日5枚、6日分
C0, 80, 1, 810000001, 【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm 非温） 30枚
C0,, 1, 830100204, 1日5枚、6日分

4-7-2 院内処方を入力方法変更について

平成28年4月改定対応では、院内処方で湿布薬を入力した場合、1日用量又は投与日数についてはフリーコメントで入力するように案内をしていますが、令和2年10月診療分以降については、「830100204 湿布薬の1日用量又は投与日数（薬剤等・処方箋料）」のコメントコードにて入力してください。 ※返戻される可能性があります。

また、このコメントは処方箋の「処方」欄に記載します。

4-8 在医総管・施医総管の選択式コメント自動記載対応

＝ 記載要領（別表１） ＝
当該月において往診又は訪問診療を行った日を記載すること。

令和2年10月診療分以降の対応となります。
9月診療分までは従前の通りの入力を行います。

在医総管の算定月と同月に「往診又は訪問診療」の算定がある場合は、在医総管と同一剤に、「850100106 往診又は訪問診療年月日（在医総管）」を自動記載（記録）します。（同一剤に「850100106」のコメント入力がある場合を除く）

施医総管の算定月と同月に「往診又は訪問診療」の算定がある場合は、施医総管と同一剤に、「850100107 往診又は訪問診療年月日（施医総管）」を自動記載（記録）します。（同

一剤に「850100107」のコメント入力がある場合を除く)

4-9 疾患別リハビリテーション料の手術年月日・急性増悪年月日の自動記載対応

4-9-1 脳血管疾患等リハビリテーション料

「850100389 手術年月日（脳血管疾患等リハビリテーション料）；」

「850100390 急性増悪年月日（脳血管疾患等リハビリテーション料）；」

上記コメントコードが提供されました。

診療行為で脳血管疾患等リハビリテーション開始日（システム予約コード）と同一剤に、又は、算定履歴ーコメント（F8）において、発症日を手術日・急性増悪日に置換するためのコメント入力を行った場合、

「850100218 発症年月日（脳血管疾患等リハビリテーション料）；」ではなく、

「850100389」又は「850100390」で自動記載（記録）します。

令和2年10月診療分以降の対応となります。

4-9-2 運動器リハビリテーション料

「850100391 手術年月日（運動器リハビリテーション料）；」

「850100392 急性増悪年月日（運動器リハビリテーション料）；」

上記コメントコードが提供されました。

診療行為で運動器リハビリテーション開始日（システム予約コード）と同一剤に、又は、算定履歴ーコメント（F8）において、発症日を手術日・急性増悪日に置換するためのコメント入力を行った場合、

「850100224 発症年月日（運動器リハビリテーション料）；」ではなく、

「850100391」又は「850100392」で自動記載（記録）します。

令和2年10月診療分以降の対応となります。

4-9-1、4-9-2について

発症日を手術日・急性増悪日に置換するためのコメント入力方法は従前通りで変更はありません。

4-10 「制限回数を超えて行う診療」に係る検査を実施した場合入力方法

選択式コメントコード「830100457 検選；」が新設されましたので、令和2年10月診療分以降は以下のように入力してください。

【令和2年9月診療分までの入力例】

. 600 * 検査

820000053 (検選)

008200001 A F P 4 0 0 円

<レセプト>

60	* (検選)
	* A F P 4 0 0 円 × 1

【令和 2 年 1 0 月診療分以降の入力例】

. 600 * 検査
830100457 検選 ; A F P 4 0 0 円

<レセプト>

60	* 検選 ; A F P 4 0 0 円 × 1
----	--------------------------

※「× 1」の部分（回数）はレセプト処理で差し込みます。

4-1-1 コメント内容が訂正されたコードについての注意事項

コメントパターン「30」など入力に伴うコメントコードでコメント内容が訂正されたコードは、令和 2 年 1 0 月 1 日で名称改定とします（マスタ更新にて）。

例

～9 月 30 日 830100202 ビタミン剤の投与趣旨（処方箋料）；

10 月 1 日～ 830100202 ビタミン剤の投与趣旨（薬剤等・処方箋料）；

令和 2 年 1 0 月診療分以降に D O 又は、セットより入力展開した場合は、入力したコメント内容を引き継ぐようにします。しかし、コメント内容の文字数が増えたコードは、入力文字数の制限により末尾が切れる可能性がありますので、/C でコメント入力内容を確認してください。

5 新設コメントパターンの入力

5-1 コメントパターン「30」（コメントコードの先頭が 830 で始まるコード）

コメント文が 32 文字超えの対応になりますが、「6 コメントパターン「30」の入力」を参照してください。

5-2 コメントパターン「31」（コメントコードの先頭が 831 で始まるコード）

コメント内容に診療行為名を記載するケースで該当する診療行為コードを指定することで代入できるコメントコードです。

入力例 140005610（酸素吸入）

診療行為コードを数値 9 文字で入力する。

入力コード	名称
831110002 140005610	* 入院後 3 日以内に実施した主要な診療行為（救急医療管理加算 2）；酸素吸入

診療行為コードに対する入力 C D（全て数字に限る）で入力した場合は診療行為コードに変換します。

※入力 C D を入力する場合、数字以外の文字は変換エラーとなる場合があります。

5-3 コメントパターン「42」（コメントコードの先頭が 842 で始まるコード）

コメント内容に実施回数や検査値など数値を記載するケースで使用するコメントコードです。

入力例 3

数値を入力する。

入力コード	名称
842100057 3	* 通算実施回数（持続緩徐式血液濾過）；3

チェック

- ・ 数字（半角）、+（プラス）、-（マイナス）、.（ピリオド）が入力可能です。
- ・ 0（ゼロ）は行削除機能のため数値としては入力できません。
- ・ 編集機能としての+（行挿入）、-（行削除）は機能しません。ただし、入力コードの先頭に+（行挿入）は可能です。

5-4 コメントパターン「50」（コメントコードの先頭が850で始まるコード） コメント内容に年月日を記載するケースで使用するコメントコードです。

入力例 令和2年4月10日

①年・月・日分割入力

入力コード	名称
850100186 502 4 10	* 算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

②元号省略入力（令和扱い）

入力コード	名称
850100186 2 4 10	* 算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

③西暦年入力

入力コード	名称
850100186 2020 4 10	* 算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

④和暦年月日入力（7文字）

入力コード	名称
850100186 5020410	* 算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

※日が不明の場合は「00」で入力します。省略はできません。（例 5020400）

⑤西暦年月日入力（8文字）

入力コード	名称
850100186 20200410	* 算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

※日が不明の場合は「00」で入力します。省略はできません。（例 20200400）

各入力方法により入力後、入力コード欄は、502 04 10 と編集して表示します。

入力コード	名称
850100186 502 04 10	* 算定開始年月日（呼吸心拍監視等）；令和 2年 4月10日

チェック

- ・ コメントコードの名称に「日」がある場合は「年月日」の入力とし、入力値が令和2年4月以降であれば日の入力がない時に警告を表示します。
- ・ コメントコードの名称に「日」がない場合は「年月」の入力とし、日の入力がある時に警告を表示します。

5-5 コメントパターン「51」（コメントコードの先頭が851で始まるコード）

コメント内容に時刻を記載するケースで使用するコメントコードです。

入力例 5時45分

時刻の入力は、時△分で入力します。

入力コード	名称
851100004 5 45	* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分

入力後、入力コード欄は、05 45 と編集して表示します。

入力コード	名称
851100004 05 45	* 検査開始時刻（時間外緊急院内検査加算）； 5時45分

チェック

- ・時は「00」から「24」、分は「00」から「59」の範囲で入力します。

5-6 コメントパターン「52」（コメントコードの先頭が852で始まるコード）

コメント内容に時間を記載するケースで使用するコメントコードです。

入力例 75分

時間を数値で入力します。

入力コード	名称
852100007 75	* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分

入力後、入力コード欄は、00075 と編集して表示します。

入力コード	名称
852100007 00075	* 診療時間（通院・在宅精神療法）； 75分

チェック

- ・入力値は「1」から「99999」の範囲で入力します。
- ・0（ゼロ）は行削除機能のため入力できません。

6 コメントパターン「30」の入力

6-1 画面表示の変更点

(K02)診療行為入力-診療行為入力 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

00001 テスト カンジャ 男 0001 国保 (320010) 30% 頭書き 前回処方 ?

R 2. 6. 17 院内 てすと 患者 S42. 6. 4 53才 01 内科

DO検索

診区	入力コード	名称	数量・点数	番号	診療日	科	保険
12	112007410	* 再診料	73 X 1 73	1	R 2. 4. 22	内	0001
12	112011010	* 外来管理加算	52 X 1 52	2	R 1. 12. 10	内	0001
14	114003510	*S在宅自己腹膜灌流指導管理料		3	R 1. 7. 2	内	0001
	830100096	F人工腎臓を算定している他の保険医療機関名 (在宅自	4000 X 1 4000	4	R 1. 5. 15	内	0001

DO選択 前 次

科 病 名

内 ◎胃潰瘍

合計点数 最終来院日 (退院日) 初診算定日 (同日初診) 未収金 当月点数累計

4,125 R 2. 4. 22 R 1. 5. 15 4,125 行数: 4

(+: 行挿入、 -: 剤削除、先頭空白・数量0: 行削除、//: 検索)

診療選択 クリア セット登録 受付 患者登録 複数科保険 病名登録 収納登録 会計照会 算定履歴 包括診療 中途終了

戻る 患者取消 前回患者 訂正 入力CD 前頁 次頁 DO 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

コメントマスタの正式名称が設定されているコメントコードは、診療行為画面の名称の先頭に「F」を表示します。

※正式名称が設定されたコメントは、コメントの文字数が32文字を超えたものです。

6-2 コメント入力画面の表示

(K02)診療行為入力-診療行為入力-医療法人 オルカ医院 [ormaster]

00001 テスト カンジャ 男 0001 国保 (320010) 30% 頭書き 前回処方 ?

R 2. 6. 17 院内 てすと 患者 S42. 6. 4 53才 01 内科

診区 入力コード 名称 数量・点数

診区	入力コード	名称	数量・点数
12	112007410	* 再診料	73 X 1 73
12	112011010	* 外来管理加算	52 X 1 52
14	114003510	*S在宅自己腹膜灌流指導管理料	
	830100096	F人工腎臓を算定している他の保険医療機関名 (在宅自	4000 X 1 4000
	/c		

番号 診療日 科 保険

1	R 2. 4. 22	内	0001
2	R 1. 12. 10	内	0001
3	R 1. 7. 2	内	0001
4	R 1. 5. 15	内	0001

DO検索

DO選択 前 次

科 病 名

内 ◎胃潰瘍

合計点数 最終来院日 (退院日) 初診算定日 (同日初診) 未収金 当月点数累計

4,125 R 2. 4. 22 R 1. 5. 15 4,125 行数: 4

(+: 行挿入、 -: 剤削除、先頭空白・数量0: 行削除、//: 検索)

診療選択 クリア セット登録 受付 患者登録 複数科保険 病名登録 収納登録 会計照会 算定履歴 包括診療 中途終了

戻る 患者取消 前回患者 訂正 入力CD 前頁 次頁 DO 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

診療行為画面の最終行に「/C」(小文字も可)を入力するとコメント入力画面を表示します。

(K025)診療行為-コメント入力

C102 (コメント未入力)

コメントコード 830100096 4行目

名称

人工腎臓を算定している他の保険医療機関名 (在宅自己腹膜灌流指導管理料) ;

コメント (最大50文字)

|

F1 戻る F6 前 F7 次 F12 確定

診療行為画面内のコメントパターン「30」のコメントコードを先頭から順に表示します。
正式名称の有無は関係ありません。

6-3 コメント入力

(K025)診療行為-コメント入力

C102 (コメント未入力)

コメントコード 830100096 4行目

名称
人工腎臓を算定している他の保険医療機関名（在宅自己腹膜灌流指導管理料）；

コメント（最大50文字）
オルカモ循環器クリニック

F1 戻る F6 前 F7 次 F12 確定

コメント入力画面でコメント（全角、50文字まで）の入力を行います。

(K025)診療行為-コメント入力

C102

コメントコード 830100096 4行目

名称
人工腎臓を算定している他の保険医療機関名（在宅自己腹膜灌流指導管理料）；オルカモ循環器クリニック

コメント（最大50文字）
オルカモ循環器クリニック

F1 戻る F6 前 F7 次 F12 確定

[F12 確定] ボタンを押下で名称欄の内容に入力したコメントを接続して表示します。

診療行為画面内にコメントパターン「30」のコメントコードが複数入力されている場合、
[F7 次] [F6 前] ボタンで別のコメント内容を表示します。
一括してコメントを入力するイメージとなります。

コメント入力ができたら、[F1 戻る] ボタンで元の診療行為画面へ戻ります。

(K02)診療行為入力-診療行為入力 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

00001 テスト カンジャ 男 0001 国保 (320010) 30% 頭書き 前回処方 ?

R 2. 6. 17 院内 てすと 患者 S42. 6. 4 53才 01 内科

診区 入力コード 名称

12	112007410	* 再診料
12	112011010	* 外来管理加算
14	114003510	*S在宅自己腹膜灌流指導管理料
	830100096	F人工腎臓を算定している他の保険医療機関名 (在宅自己腹膜灌流指導 ; オルカモ循環器クリニック)

DO検索

番号	診療日	科	保険
1 R 2. 4. 22		内	0001
2 R 1. 12. 10		内	0001
3 R 1. 7. 2		内	0001
4 R 1. 5. 15		内	0001

DO選択 前 次

科 病 名

内 ◎胃潰瘍

合計点数 最終来院日 (退院日) 初診算定日 (同日初診) 未収金 当月点数累計

4,125 R 2. 4. 22 R 1. 5. 15 4,125 行数: 4

(+: 行挿入、 -: 行削除、先頭空白・数量0: 行削除、//: 検索)

診療選択 クリア セット登録 受付 患者登録 複数科保険 病名登録 収納登録 会計照会 算定履歴 包括診療 中途終了

戻る 患者取消 前回患者 訂正 入力CD 前頁 次頁 DO 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

診療行為画面の名称欄には、「点数マスタの名称+入力したコメント」を69文字まで編集します。

69文字を超える場合は、今後、診療行為画面の名称欄で直接変更することはできません。変更した場合、「コメント入力画面」へ自動遷移します。

なお、正式名称のあるコメントコードも同様に名称欄で直接入力が可能です。入力するコメントが短文に限ります。

6-4 コメント入力画面の表示（方法2）

(K02)診療行為入力-診療行為入力-医療法人 オルカ医院 [ormaster]

00001 テスト カンジャ 男 0001 国保 (320010) 30% 頭書き 前回処方 ?

R 2. 6. 17 院内 てすと 患者 S42. 6. 4 53才 01 内科

DO検索

診区	入力コード	名称	数量・点数	番号	診療日	科	保険
12	112007410	* 再診料	73 X 1 73	1	R 2. 4. 22	内	0001
12	112011010	* 外来管理加算	52 X 1 52	2	R 1. 12. 10	内	0001
14	114003510	*S在宅自己腹膜灌流指導管理料		3	R 1. 7. 2	内	0001
	/C830100096	F人工腎臓を算定している他の保険医療機関名 (在宅自	4000 X 1 4000	4	R 1. 5. 15	内	0001

DO選択 前 次

科 病 名

内 ◎胃潰瘍

合計点数 最終来院日 (退院日) 初診算定日 (同日初診) 未収金 当月点数累計

4,125 R 2. 4. 22 R 1. 5. 15 4,125 行数: 4

(+: 行挿入、 -: 削除、先頭空白・数量0: 行削除、//: 検索)

診療選択 クリア セット登録 受付 患者登録 複数科保険 病名登録 収納登録 会計照会 算定履歴 包括診療 中途終了

戻る 患者取消 前回患者 訂正 入力C/D 前頁 次頁 DO 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

入力コード欄のコメントコードの先頭に「/C」を入力した場合、そのコメントコードを対象にコメント入力画面を表示します。

この場合は、コメント入力画面で[F12 確定]ボタンを押下すると診療行為画面へ戻ります。

7 コメントパターン「30」のコロンの対応

7-1 コメントパターン「30」の診療データ

[illegible]

令和2年6月診療分までに入力したコメントパターン「30」のコメントは、マスタのコメント文の末尾が：(コロン)になっています。

7-2 令和2年7月診療分以降

(K09)診療行為入力-診療行為選択

2 外来 00 全体

番号	診療日	科	保険	番号	診療区分	点数×回数
1	R 2. 6. 26	内	0001	1	.980 コメント (処方せん備考)	
2	R 2. 4. 22	内	0001		70枚を超えて湿布薬を投与した理由: 事故の影	× 1
3	R 1. 12. 10	内	0001	---		
4	R 1. 7. 2	内	0001			
5	R 1. 5. 15	内	0001			

--- コロン

診療日選択 1 前 次 番号選択 |

戻る F4 名称切替 F5 受診履歴 F6 入外区分 F7 診療区分 F12 確定

令和2年7月診療分以降で令和2年6月診療分以前のコメントパターン「30」を含む診療データをD0から展開します。

(K02)診療行為入力-診療行為入力 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

00001 テスト カンジャ 男 0001 国保 (320010) 30% 頭書き 前回処方 ?

R 2. 7. 1 院内 てすと 患者 S42. 6. 4 53才 01 内科

診区 入力コード 名称 数量・点数

診区	入力コード	名称	数量・点数
12	112007410	* 再診料	73 X 1 73
12	112011010	* 外来管理加算	52 X 1 52
98	.980	* コメント (処方せん備考)	
	830000052	70枚を超えて湿布薬を投与した理由; 事故の影響に	

番号 診療日 科 保険

1	R 2. 6. 26	内	0001
2	R 2. 4. 22	内	0001
3	R 1. 12. 10	内	0001
4	R 1. 7. 2	内	0001
5	R 1. 5. 15	内	0001

DO検索

DO選択 前 次

科 病 名

内 ◎胃潰瘍

合計点数 最終来院日 (退院日) 初診算定日 (同日初診) 未収金 当月点数累計

125 R 2. 6. 26 R 1. 5. 15 125 行数: 4

(+: 行挿入、 -: 行削除、先頭空白・数量0: 行削除、//: 検索)

診療選択 クリア セット登録 受付 患者登録 複数科保険 病名登録 収納登録 会計照会 算定履歴 包括診療 中途終了

戻る 患者取消 前回患者 訂正 入力CD 前頁 次頁 DO 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

マスタのコメント文から ; (セミコロン) に置換します。

DOからの展開だけではなく、セットや中途終了からの展開の時も同様となります。

【注意事項】

例として、悪性腫瘍特異物質治療管理料に必要なコメントとして、
「830000015 腫瘍マーカー検査名: 」がありますが、7月以降は
「830000015 腫瘍マーカー検査名; 」のように同一コードですので、コロンとセミコロンの置換は行います。

しかし、記載要領 (別表 I) では新設コメントコードである

「830100060 検査名 (悪性腫瘍特異物質治療管理料); 」となります。

別コードとなるため名称の自動置換は行いませんので、DOやセットから展開した後に訂正が必要となることにご注意ください。

8 診療行為での選択式コメント一覧の表示対応

8-1 システム管理の設定を追加

システム管理の「1038 診療行為機能情報」の「6. 選択式コメント一覧」に「2 自動表示する (選択コメントなし)」を追加しました。

選択式コメントを表示する診療コードを入力した時、コードの下に選択式コメントの入力がない場合に選択式コメント一覧を自動表示します。

ただし、自動算定した加算に対する選択式コメントは自動で一覧表示することはできません。

「乳幼児頭部外傷撮影加算」「2回目以降減算 (CT・MRI)」などが自動表示の対象外で

す。

8-2 「//ss」コマンドによる選択式コメント一覧の表示内容

コメント関連テーブルの枝番別に表示していましたが、区分別、項番別でまとめて表示するようにしました。

8-3 「//SA」、「//sa」コマンドの新設

最下行の未入力行に入力します。

画面の先頭から選択式コメントの必要な診療コードの下に選択式コメントの入力がない場合、順番に選択式コメント一覧を表示します。

選択したコメントは診療コードの直下に挿入します（自動算定する加算の種類によっては加算の下）。

選択式コメントの入力が必要な診療コードが存在しない場合は、エラーメッセージを表示します。

診療コードと選択式コメントの関連チェックは行いませんので、選択式コメントの位置によっては入力済みであっても選択式コメント一覧の表示対象となります。また、反対もあり得ますので注意して下さい。

例

```
. 400          * 処置行為
140007710    S 人工腎臓（その他）
820100212    イ 透析導入期（1月に限る）の患者      （コメント）
140058770    S 導入期加算1（人口腎臓）
140033770    S 障害者等加算（人口腎臓）
. 600          * 検査
160212710    SEBウイルス核酸定量
//SA
```

- ①「人工腎臓（その他）」は下に選択式コメントが入力済みのため選択式コメント一覧は表示しません。
- ②「導入期加算1（人口腎臓）」の選択式コメント一覧を表示します（選択します）。
- ③「障害者等加算（人口腎臓）」の選択式コメント一覧を表示します（選択します）。
- ④「EBウイルス核酸定量」の選択式コメント一覧を表示します（選択します）。

8-4 「//SJ」、「//sj」コマンドの新設

入力した行から上行の剤の先頭から選択式コメントの必要な診療コードの選択式コメント一覧を順番に表示します。

選択したコメントは、診療コードの直下に挿入します（自動算定する加算の種類によっては加算の下）。

例1

```
. 600          * 検査
160212710    SEBウイルス核酸定量
. 400          * 処置行為
140007710    S 人工腎臓（その他）
```

820100212 イ 透析導入期（１月に限る）の患者 （コメント）
140058770 Ｓ 導入期加算１（人口腎臓）
140033770 Ｓ 障害者等加算（人口腎臓）
//sj

- ①「ＥＢウイルス核酸定量」は//sjを入力した剤ではないため選択式コメント一覧は表示しません。
- ②「人工腎臓（その他）」は下に選択式コメントが入力済みですが選択式コメント一覧を表示します（戻る又は選択します）。
- ③「導入期加算１（人口腎臓）」の選択式コメント一覧を表示します（選択します）。
- ④「障害者等加算（人口腎臓）」の選択式コメント一覧を表示します（選択します）。

例 2

. 600 * 検査
160212710 Ｓ ＥＢウイルス核酸定量
. 400 * 処置行為
140007710 Ｓ 人工腎臓（その他）
820100212 イ 透析導入期（１月に限る）の患者 （コメント）
140058770 Ｓ 導入期加算１（人口腎臓）
//sj
140033770 Ｓ 障害者等加算（人口腎臓）

例 1 の①から③までは同様の動作となります。

- ④「障害者等加算（人口腎臓）」の選択式コメント一覧は、同一剤内でも //sj を入力した位置より下にあるため表示しません。